

# 厚生年金保険料・受給額 簡単まとめ

 Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。  
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。  
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

# 厚生年金保険料・受給額 簡単まとめ

## 厚生年金保険の保険料・将来の年金額

厚生年金保険は、会社員や公務員が加入する公的年金制度で、老後の年金に加え、遺族年金や障害年金の保障もあります。保険料は、給与や賞与に基づく標準報酬月額・標準賞与額に保険料率をかけて算出され、会社と本人で折半して負担します。

### 標準報酬月額の決定と改定

厚生年金保険料は、会社から受け取る給与を等級に区分した「標準報酬月額」に基づいて決まります。この標準報酬月額は、以下の4つのケースで見直されま

- **資格取得時決定:** 入社時の給与をもとに決定。適用期間は入社時期による。
- **定時決定:** 毎年4～6月の平均給与を基に決定し、9月から翌年8月まで適用。
- **随時改定:** 昇給・降給などで給与が大きく変わった場合に実施。一定の条件を満たす必要あり。
- **産前産後・育児休業終了時改定:** 休業から復帰後の給与が低下した場合、従業員の申し出により改定。

### 厚生年金保険加入による将来の年金増加

厚生年金に加入することで、国民年金に上乘せして老齢厚生年金が支給され、将来の受給額が増加します。老齢厚生年金の計算は、加入期間や平均標準報酬額に応じて行われます。

令和5年度における老齢厚生年金の平均月額（受給権者）は約14万6千円です。受給者（現に受けている人）の場合は14万7千円です。年金額は、加入期間が長く、収入が多いほど増加する仕組みとなっています。

年収	標準報酬月額	20年加入（月額増加額）	30年加入（月額増加額）
120万円	9万8千円	約1.0万円	約1.6万円
150万円	12万6千円	約1.3万円	約2万円
300万円	25万円	約2.7万円	約4.1万円
400万円	約33.3万円	約3.6万円	約5.4万円
500万円	約41.7万円	約4.5万円	約6.8万円
600万円	50万円	約5.4万円	約8.2万円
700万円	約58.3万円	約6.3万円	約9.5万円
800万円	65万円	約7.1万円	約10.6万円

※上記は概算であり、計算式に基づいた報酬比例部分の増加額です。

※将来の加入期間・報酬額に応じた増加額のイメージであり、実際の年金額とは異なる場合があります。

## 厚生年金額に関する注意点

- 標準報酬月額には上限（65万円）があります。
- 年金額は、
  - 【平成15年4月以降】  $5.481/1000 \times \text{標準報酬月額} \times \text{保険加入月数（令和6年度の値）}$  という計算式（報酬比例部分）に基づいて概算しています。
  - 【平成15年3月以前の加入期間】  $7.125/1000 \times \text{平均標準報酬月額} \times \text{加入月数}$  という計算式が適用されます。
- 実際の受給額は、それぞれの期間に対応する2つの計算式を合算して決まります。
- 実際の年金額は、加入期間や個々の状況、将来の制度改正などにより変動する可能性があります。